

「市長記者会見」の概要

■日時 令和2年11月24日（火）午後1時30分

■会場 千曲市役所 庁議室・応接会議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、長野市民新聞、新建新聞、スポーツニッポン新聞、長野経済新聞、屋代有線放送、信州ケーブルテレビジョン

■質疑応答

【千曲ラン&ウォーキング スタンプラリーを開催します】

問 スタンプを集める際、スマホにアプリをダウンロードする必要はあるか。

回答 インターネットの専用ページを作成した。ブラウザで閲覧するだけでスタンプを押すことができる。登録やアプリのダウンロードは必要ない。ただし、GPS（位置情報）の機能はオンにしておく必要がある。ブラウザの履歴を保持した状態であれば、その端末でスタンプを押していける仕組みになっている。（スポーツ振興課 回答）

問 来年の千曲川ハーフマラソンにエントリーして、スタンプラリーの記念品のリストバンドを提示すると特典があるようだがその内容は。

回答 千曲川ハーフマラソンの参加者には、市内の日帰り入浴施設の無料券をお配りしている。例えばそれを2枚にするとか、地元産品をお配りするとかを検討している。（スポーツ振興課 回答）

【令和2年第5回（12月）千曲市議会定例会提出議案】

問 市長、副市長、教育長の給料の減額について、減額前と後の月額と減額の総額はいくらか。また減額分をどのように使いたい。

回答 市長の月額給料額は86万円で10%減額により77万4,000円となる。副市長は70万2,000円を5%減額で66万6,900円、教育長は60万9,000円を5%減額で57万8,550円となる。12月から3月までの減額総額は60万6,200円。減額分は新型コロナ対策を中心に使いたい。4月以降については状況に応じて判断したい。（総務部 回答）

問 どんな思いで給料の減額をするのか。

回答 前の市長の給料減額について承知していた。コロナの第3波ということもあり、現状で給料を元に戻すのはいかなものかと考えた。今後の経済状況もどうなるのかははっきり分からないので、今年度は減額を継続することとした。

問 市長も市民と痛みを共有するという思いでということでしょうか。

回答 一番そこが基本となる。そのため、4月以降も経済状況によっては引き続きということになると思う。

問 更埴図書館（更埴文化会館）の復旧工事はいつから始まるのか。

回答 年度内に工事を始めたい。（総務部 回答）

問 年度内に始まる復旧工事に合わせて、更埴図書館を移転するというのでよいか。

回答 遅くとも年度内に引っ越しを行い、新年度から新しい場所で業務を行いたいと考えている。（総務部 回答）

問 更埴図書館の機能の一部を移転とあるが、移転先ではどのような業務を行うのか。

回答 移転先が今の更埴図書館より狭いため、全ての本を移転することはできない。このため、要望の多い子ども用の本（絵本）や新刊本を中心に行いたい。その他の本はパソコンで検索できるため、事前に申し込んでいただければ用意して貸出ししたい。各種講座もできるだけやっていきたい。（総務部 回答）

問 移転先はどこか。

回答 J A ながの杭瀬下支所の跡地。（総務部 回答）

問 移転して業務を行う期間は1年位か。

回答 最長でその位になる。（総務部 回答）

問 棚田保全事業で取得する「月見荘」はどのように整備するのか。

回答 まず外トイレの整備が必要になる。関係団体や観光客の使用に耐えられるような改修を行う予定で、その費用は新年度当初予算に計上したい。（総務部 回答）

問 新生児への特別定額給付金の支給対象となるのは、4月28日から来年の3月31日までに生まれた子どもか。

回答 そのとおり。来年の4月以降に生まれた子どもについては検討中。（総務部 回答）

【市政全般について】

問 市長選挙から1か月が経過した。関係者や職員から話を聞く中で、公約にはなかったが、新たにやらなければいけないと感じていることはあるか。

回答 公約には子育てのことは挙げていなかったが、手厚くしたいという思いはある。例えば兵庫県明石市では「おむつ宅配便」という事業を行っており、新生児用のおむつを無料で届けている。届けているのは保健師だと伺っている。産後うつ防止や悩み相談を兼ねた興味深い取り組みであるので、類似のことができないか研究したい。

問 子育て以外にやりたいことはあるか。

回答 教育関係では、学習支援の現状を精査し、学力の向上に取り組んでいきたい。学習支援のあり方についても、どんな課題があり、どのように解決に向けて取り組むべきかを検討し、

底上げを図りたい。

問 新型コロナウイルスの感染者が増えてきていることの受け止めと、今後の経済対策への考えは。

回答 第3波が来ているが、できるだけ経済を止めないように考えている。個人の感染症対策をしっかりとっていただくことと、事業者の皆様には改めて対策を行っていただき、例えば安全に会食ができるように啓発する必要があると思っている。Pay Payの事業については、当初の見込みより経済効果があると承知しているので期間の延長も考えてみたい。また国の補正予算がどうなるのか睨みながら、追加の経済対策について考えていきたい。

問 この3連休の人出をどう見ているか。また、国のGoTo事業についてどう受け止めているか。

回答 昨日、用事があり戸倉上山田温泉に行ったが賑わっていた。国道も県外ナンバーの車が多く混雑していたので、人手はかなりあったのではないかと思う。そういった意味ではGoTo事業は効果があったのではないかと思う。経済を止めないということと感染症対策を両立できるということであれば、この地域においては、GoTo事業は継続したほうがよいと考えている。

問 戸倉上山田地区への市民窓口設置について、現在の進捗状況は。

回答 内部で複数の案を提示した中で、メリット・デメリットの検討をしている。また、要望書を提出された上山田地区の自治会の皆様からお話を伺って、細部については検討していきたい。

終了 午後2時35分